Ministry of Land, Infrastructure, Transport and Tourism

令和2年4月17日 徳島河川国道事務所

一般国道 5 5 号 阿南道路 4 車線化 開通 1 ヵ月後の交通状況について

<渋滞状況>

- ○阿南道路4車線化により、那賀川大橋北詰交差点は立体交差点となり、 **渋滞長がゼロに (渋滞長約1.9km→0km**)
- ○4車線化付近において、 朝ピーク時の所要時間が<u>最大約14分短縮(約8割減)</u> 夕方ピーク時の所要時間が<mark>最大約7分短縮(約7割減)</mark>
- ○朝ピーク時の所要時間分布のバラツキが大幅に改善(バラツキ約26分→ 約2分) し、定時性を確保
- <並行市道の安全性>
- ○抜け道として利用していた市道(通学路)の交通量は、**最大約9割減少**
 - ※今後も引き続き調査を行い、効果を検証していきます。

徳島河川国道事務所ホームページ http://www.skr.mlit.go.jp/tokushima/ Twitter情報 https://twitter.com/mlit_tokushima/





ホームページ

本施策は、四国圏広域地方計画「No.5 地域の自立的・持続的発展に向けた「資国」産業競争力強化プロジェクト」の取り組みに該当します。

【問い合わせ先】

国土交通省 四国地方整備局 徳島河川国道事務所

TEL088-654-2211 (代表)

副所長 山岡 敏之(やまおか としゆき)

TEL088-654-9612 (直通)

◎計画課長 勝田 健史(かつた たけし)

◎主たる問い合わせ先

一般国道55号 阿南道路の概要

- ○一般国道55号阿南道路は、小松島市及び阿南市中心部における交通混雑の緩和と交通安全の確保を図るとともに、周辺 道路網と一体となって阿南市以南から徳島市方面への交通の円滑化を目的としています。
- 〇令和2年3月14日(土)に、阿南市那賀川町中島~西路見町江川(2.1km)が4車線化しました。

位 置 図



4車線化区間の概要

あなん なかがわちょうなかしま
区 間:阿南市那賀川町中島

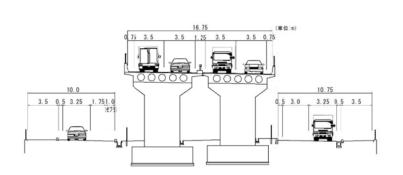
あなん さいる みちょうえがわ ~阿南市西路見町江川

区間延長: 2. 1km

構造規格:第3種第1級

車線数:4車線

4車線化区間の標準断面図





現況写真





渋滞状況

一般国道55号 阿南道路4車線化 開通1ヵ月後の交通状況(渋滞長削減)

- ○阿南道路4車線化により、那賀川大橋北詰交差点は立体交差点となり、渋滞長がゼロに。
- ○那賀川大橋北詰交差点の室戸市方面行きの朝ピーク時最大渋滞長が約1.9km⇒0km。
- ○那賀川大橋北詰交差点の徳島市方面行きの夕方ピーク時最大渋滞長が<u>約1.7 k m⇒0 k m</u>。

位置図



4車線化前後の交通状況













渋滞状況

一般国道55号 阿南道路4車線化 開通1ヵ月後の交通状況(所要時間短縮)

- ○阿南道路4車線化により、4車線化付近の<u>旅行速度が最大約52km/h向上</u>。
- ○朝夕ピーク時の所要時間が大幅短縮。(室戸方面行き阿南那賀川交差点→西路見交差点間では約14分短縮(約8割減))



開通後:R2.3.16-27の平日平均(徳島市方面17時台、室戸市方面7時台)ETC2.0プローブデータ

渋滞状況

一般国道55号 阿南道路4車線化 開通1ヵ月後の交通状況(所要時間の変化)

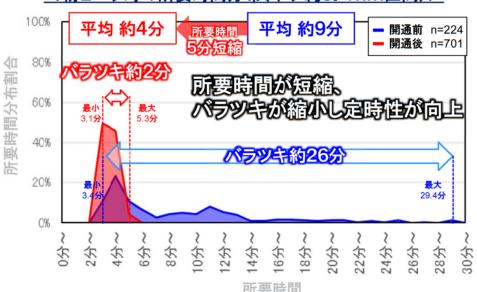
- ○阿南道路4車線化により、朝ピーク時の<mark>所要時間の短縮並びにバラツキが大幅に改善。物流輸送に対する定時性の確</mark> 保や通勤時間の短縮に寄与。
- ○沿線や臨海部の企業では、定時性の確保により時間的な余裕ができ「搬入搬出の遅れが減った」との声も得られた。

位置図



交通状況の変化(速度改善・定時性向上)

<朝ピーク時の所要時間分布(下り約3.1km区間)>



資料) ETC2. 0プローブデータ 開通前H31. 2月平日(7~10時) 開通後R2. 3. 16~27平日(7~10時) 分析区間: (阿南那賀川線交差点~西路見交差点)

周辺企業の声



辰巳工業団地

▼業務環境の改善に寄与

●工業団地周辺の待機車両が減少し、**搬入搬出の遅れ** が減ったと感じました。辰巳工業団地全体で、今後搬入 搬出などの車両数の増加を見込んでおり、今回の4車線 化は非常に良いタイミングです。

交通量 国道55号 阿南道路4車線化 開通1ヵ月後の交通状況(周辺道路への効果)

- ○朝の通勤通学時に並行する市道(通学路)から国道55号へ流入する交通量は、最大約9割減少。
- ○抜け道として利用していた車両の減少により、通学時の安全性が向上。

交通量の変化 位置図 交通量の変化 ▼中島港線交差点 ▼中島港線交差点 (台/h) 西側流入 (中学校) (台/h) 東側流入 200 200 166 🗸 -95台 100 100 中島港線交差点 開通前 開通後 開通前 開通後 抜け道利用 ▼中島団地東交差点 ▼中島団地東交差点 中島団地東交差点 写真① (台/h) 西側流入 (台/h) 東側流入 文 200 (小学校) -157台 小学校指定通学路 100 R2.3.14 4車線化区間 抜け道利用 開通前 開诵後 開通前 開通後 延長2.1km 那賀川大橋北詰交差点 ▼那賀川大橋北詰交差点 ▼那賀川大橋北詰交差点 【凡例】 (台/h) 東側流入 西側流入 (台/h) 阿南道路 200 300 主要地方道 1424 216 一般県道 200 **(55)** 100 その他道路 那賀川→ 主要渋滞箇所 100 ※この地図は、国土交通省国土政策局「国土数値情報」をもとに編集・加工したものである。 開通前 開通後 開通前 開通後 資料) 方向別交通量調査結果 開通前 H31.2.21(木)、開通後 R2.4.8(水) 時間は朝7:00~8:00(1h)





▼通学路の安全性が向上

- ●児童が登下校で使っている通学路は、抜け道として利用していた車の交通量が大幅に減り、<u>通学時児童の横を通る車は極端に少なくなっており、児童の通学がとても安全に</u>なりました。
- ●通学で児童が渡る中島団地東交差点は、ほとんどの車両が本線に転換したため、以前 (学校関係者) よりもたいへん安全になりました。